

基本情報

利用者名	栃乙女様		性別	女性	
			生年月日	昭和17年10月8日 79歳	
面接日	令和4年5月10日	受付対応者		受付方法	
主訴	<p>【主訴】生活への希望、願い、何とかしたいと思っていること、支援等 長男と二人暮らしであったが、令和4年4月5日、長男がクモ膜下出血にて他界し一人暮らしとなる。突然のことで、毎日泣いて暮らすようになり、認知症状が進行している。 突然の死に、近くに住む次女も一緒に落ち込み、母を心配して毎日訪問して過ごしている。夜間は、孫が泊り対応している。 今後の生活について相談に乗ってほしい。(次女)</p>				
	<p>【本人・家族の意向】上記についてどのように思っているか 本人：2月に右上腕骨を骨折し、長男に介護してもらっていた。一人でお風呂に入れないので、手伝ってほしい。一人でいると寝てしまうことが多く、物忘れも進んでしまうと思うので、他の方と話がしたい。 次女：兄の突然の死に、二人で泣いて過ごしていました。悲しみはありますが、生きていかなければという話をしました。これからも、一人暮らしが続けられるように支援していくつもりですが、左手首や膝の炎症があり入浴介助ができないので手伝ってほしい。 足腰が弱ってきているので運動する機会を持ってほしい。もともと、社交的なので他者と交流する機会が持てたらと考えています、</p>				
生活状況	<p>【現在の生活状況、生活歴等】 4人きょうだいの長女として生まれる。21歳で結婚、3人の子供を育てる。パート社員として70歳ぐらいまで就労していた。 働き者で社交的、友人も多かった。 夫が他界後は、病弱な長男と二人暮らしをしていたが、令和4年4月5日、長男がクモ膜下出血にて他界。 現在、一人暮らしとなる。</p>		<p>【家族の状況・関係】</p>		
	<p>【経過・病歴・治療等】 平成元年 狭心症：内服にて経過観察中。現在特に症状なし。 平成14年 2型糖尿病、高血圧症、高脂血症にて内服治療中。コントロール良好。 令和4年2月 右上腕骨頸部骨折：体幹固定にて保存的加療中。整形外科医師より、右上肢を上げないよう指導されている。他の運動は制限なし。転倒に注意。</p>				
日常生活自立度	障害高齢者の日常生活自立度	B2	認知症高齢者の日常生活自立度	IIb	
認定状況	要介護度 1 (年 月 日 ~ 年 月 日) 初回・更新				
被保険者情報	<p>【保険・年金・経済状況・身体障害者手帳など】 老齢年金・生活保護受給</p>				

支援状況	<p>【現在利用しているサービスや支援経過について】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・毎日、近くに住む次女が家に来ており、IADL・精神的な支援をしている。 8時30分～17時(短時間の外出はしている) 夜間は電話で対応している。 ・孫(次女の長男)仕事が深夜に終わるためアパートにきて泊り、朝8時に自宅に戻る。 ・孫(次女の長女)月に2回ほど、家事や入浴支援に来てくれる。 										
居住環境	<p>【家屋状況等】 アパート賃貸:1階</p> <table border="1" data-bbox="572 629 911 1005" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td style="text-align: center;">台所</td> <td style="text-align: center;">浴室</td> <td style="text-align: center;">洗面台</td> </tr> <tr> <td rowspan="2" style="text-align: center;">リビング</td> <td rowspan="2" style="text-align: center;">廊下</td> <td style="text-align: center;">トイレ</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">玄関</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">居室</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">居室</td> </tr> </table>	台所	浴室	洗面台	リビング	廊下	トイレ	玄関	居室	居室	
台所	浴室	洗面台									
リビング	廊下	トイレ									
		玄関									
居室	居室										

(別表) 服薬状況

薬剤名	量	効能
テネリア錠 20 mg	2 錠	糖尿病薬
カンデサルタン 4 mg	1 錠	降圧剤
ロスバスタチン 2.5 mg	1 錠	高脂血症薬
ジアゼパム錠 2 mg	2 錠	向精神薬:鎮静・抗不安薬
イソソルビド徐放 CP20 mg	2CP	虚血性心疾患治療薬
ジルチアゼム塩酸塩 60 mg	2 錠	降圧剤

<p>1. 健康状態</p> <p>(1) 観察・管理の必要な病気</p> <p>(2) 症状</p> <p>①身体症状</p> <p>②精神症状</p> <p>(3) 痛み</p> <p>(4) 病状の変化</p> <p>(5) 薬</p> <p>(6) 医療機器</p> <p>(7) 保健予防</p> <p>(8) 健康生活</p> <p>(9) 予定されたケア・治療の順守</p> <p>《意向》</p>	<p>平成14年ごろから、2型糖尿病、高血圧症、高脂血症にて、内服治療中でコントロール良好。認知症は専門医の診察はしていないが、2年ぐらい前から鍋焦がしや物忘れが目立つようになっている。令和4年2月、自宅で転倒、右肩をベッドにぶつけて受傷。右上腕骨頸部骨折の診断で体幹固定にて保存的加療中。</p> <p>下痢、排尿障害、発熱、食欲不振、嘔吐、胸痛、便秘、めまい、浮腫、息切れ等の身体症状はみられなかった。</p> <p>長男の急死後から、神経過敏や感情の不安定さが目立ち、一日泣いていたり、イライラと怒り出したりしている。</p> <p>右上肢を動かすと痛み出現。腰部痛あり。</p> <p>骨折によりADLの低下。長男の急死により認知症の進行がみられている。</p> <p>主治医に管理されている。次女により準備・確認ができています。 服薬状況（別表）</p> <p>医療機器は使用していない。</p> <p>定期的に通院・受診している。</p> <p>認知症は徐々に進行し生活に支障をきたしている。 その他は、喫煙、飲酒もせず、新たな病気もみられない。</p> <p>医師から服薬等の指示はほぼ守られている。</p> <p>(本人) 右腕が早く良くなるとよい。一人暮らしが続けられるよう、もの忘れが進まないようにしたい。 (次女) 右腕が早く良くなるよう定期受診に努めていきたい。状態が悪化せず一人暮らしを続けてほしい。</p>
<p>2 ADL</p> <p>(1) 寝返り</p> <p>(2) 起き上がり</p> <p>(3) 乗り移り</p> <p>(4) 家の中の移動</p>	<p>右上肢骨折のため、左手をついて左側に向くことはできる。</p> <p>布団に寝ており、左手をついて身体を支えながら起き上がることができる。</p> <p>右上肢三角巾で固定しているため、介助を受けている。</p> <p>左手で家具などにつかまったり、4点杖を支えにゆっくり歩いて移動している。</p>

(5) 屋外への移動	長い距離は歩けないため、車椅子介助を受けて移動している。
(6) 上半身の更衣	ゆっくりと一人でできるが、右上肢の骨折を忘れて動かしてしまうため、声掛け支援が必要。
(7) 下半身の更衣	
(8) 食事	用意された食事を左手でスプーンとフォークを使って一人で食べている。
(9) 排泄	一人で排泄しているが、歩行や立ち座り、ズボンの上げ下ろしに時間を要するため尿取りパットを使用している。
(10) 整容	爪は孫に切ってもらっている。他は準備をすれば一人でできる。
(11) 入浴	骨折後は、次女が清拭をしていた。入浴は隔週で来る孫により介助されている。
(12) ADLの低下	右上肢の骨折後、動かなくなり寝起きや椅子からの立ち上がりが大変になっている。一人になると寝ていることが多くなっている。
(13) 活動・健康増進	骨折後は一人で外に出ることが無くなる。また、長男の急死後からは通院以外は家から出していない。
(14) 自立度改善の可能性	主治医から身体を動かすことで身体機能の改善が図れる可能性があると言われている。本人も元のように歩けるようになりたいと思っている。
(15) 要介護状態の変化	骨折後のADLの低下や長男の急死による認知症の進行により、声かけや介護支援が必要となっている。
(16) 転倒	ここ3ヶ月の間に2回転倒している。夜間トイレに行く際に段差につまずき転倒し上腕骨頸部骨折。認知症による注意力の低下がみられている。
《意向》	(本人) 以前のように歩けるようになりたい。お風呂に入れないので入れてほしい。 (次女) 入浴支援をお願いしたい。足腰が弱ってきているので、運動ができるようにしてほしい。

<p>3 IADL</p> <p>(1) 炊事</p> <p>(2) 家事一般(掃除・洗濯・整理)</p> <p>(3) 金銭管理</p> <p>(4) 薬の管理</p> <p>(5) 電話使用</p> <p>(6) 買い物</p> <p>(7) 交通手段の利用</p> <p>《意向》</p>	<p>支援を受けている。長男が急死してからは、近くに住む次女が毎日訪問し支援している。</p> <p>洗濯物をたたむことはできるが、他は全て支援を受けている。</p> <p>お金の管理は次女がしており、お小遣い程度は所持している。</p> <p>忘れてしまうことがあるため、次女が管理している。</p> <p>一人でかけることはできるが、時間を気にしないで妹や弟にかけてしまっているため、皆が困っている。</p> <p>必要なものは、次女にお願いしている。</p> <p>利用していない。</p> <p>(本人) 今は右手が効かないので、治ったらできることは自分でしたい。</p> <p>(次女) できることは、これからも続けてほしい。</p>
<p>4 認知</p> <p>(1) 記憶</p> <p>①複雑性注意</p> <p>②実行機能</p> <p>③学習と記憶(即時, 近時, 遠隔)</p> <p>④言語(失語)</p> <p>⑤知覚・運動(失認, 失行)</p> <p>⑥社会的認知</p> <p>⑦見当識</p> <p>(2) せん妄</p> <p>《意向》</p>	<p>物事に集中できないで、ボーっとしていることが多い。意欲がない。調理ができない。</p> <p>今言ったことでもすぐ忘れる。同じことを何度も言う。</p> <p>新しいことを覚えられない。</p> <p>話がくどく同じことを繰り返す。話のつじつまが合わないことが増えている。</p> <p>動作が緩慢になってきている。</p> <p>一つの用事をしている間に他の用事を忘れる。</p> <p>段取りよく物事を進められない。今日が何日か分からない。</p> <p>ちょっとしたことでイライラしたり、泣いたり、怒り出したりする。</p> <p>一時的な錯乱等はない。</p> <p>(本人) 一人でいると寝てしまう。物忘れが進まないようにしたい。</p> <p>(次女) 自分でできることが続けられるようにしてほしい。</p> <p>できるだけ困らないようにしてあげたい。</p>
<p>5 コミュニケーション能力</p> <p>(1) 聴覚</p> <p>(2) 相手に理解させること</p>	<p>聞こえる。</p> <p>挨拶や簡単な会話はできる。つじつまが合わない時がある。</p>

<p>(3) 相手を理解すること</p> <p>(4) コミュニケーション能力の低下</p> <p>(5) 視覚</p> <p>《意向》</p>	<p>受け答えはしているが、感情の起伏があり理解できていないことがある。</p> <p>認知症の進行とともに低下している。</p> <p>見える。視覚障害、低下もない。</p> <p>(本人) 一人していると物忘れが進むから、話す機会がほしい。</p> <p>(次女) 話好きなので、できるだけ聞いてあげようと思っているが、ずっとついていられない。</p>
<p>6 社会との関わり</p> <p>(1) 関わり</p> <p>(2) 気分</p> <p>《意向》</p>	<p>社会的で誰とでも関わっていたが、右腕の骨折後より家の中で過ごすことが増えていた。さらに、長男の急死により通院以外は家から出していない。</p> <p>長男の急死後より、毎日息子を思い出して泣いていた。1ヶ月経った頃から、毎日ではなくなるが、会話の途中で長男の話になると泣き出していた。また、イライラして娘に対し強い口調になったり、孫に対して暴言を吐くようになる。</p> <p>(本人) このままではいけない。生きていかなければならないと娘とも話していた。物忘れが進まないようにするためにも他の方と話す機会を持ちたいと思う。</p> <p>(次女) 落ち込んでばかりでなく、少しでも外に目を向けて他者と触れ合う時間をもってほしい。</p>
<p>7 排尿・排便</p> <p>(1) 失禁</p> <p>(2) おむつ使用</p> <p>(3) 便失禁</p> <p>《意向》</p>	<p>尿意あるが、トイレに行くまでに時間がかかり失禁することがある。</p> <p>薄い尿取りパットを使用している。</p> <p>便意あり、失禁はない。</p> <p>(本人) 何とか一人でトイレに行くことができている。</p> <p>(次女) 夜間のトイレが心配です</p>
<p>8 褥瘡・皮膚の問題</p> <p>《意向》</p>	<p>褥瘡、皮膚の問題はなし</p> <p>(本人) — —</p> <p>(次女) — —</p>

<p>9 口腔衛生 口腔状態の問題</p>	<p>歯磨きができ、清潔が保たれている。 (本人) - - (次女) - -</p>
<p>10 食事摂取 《意向》</p>	<p>糖尿病あるが、食事制限なし。一日三食しっかり食べており、体重の増減なし。嚥下にも問題ない。 (本人) - - (家族) - -</p>
<p>11 問題行動(行動障害) (1) 行動障害 ①迷うこと ②怒ること(言動) ③怒ること(行動) ④混乱する行動 ⑤ケアを嫌がる断る ⑥行動障害の悪化 (2) 向精神薬 《意向》</p>	<p>骨折後は、一人で外に出ることはない。 ちょっとしたことで怒り出すことが増えている。次女や孫、妹、弟に対し怒り出すことがある。 長男のことを思い出すと、泣き出し混乱することがある。声掛けすることで落ち着きを取り戻す。 毎日夜になると、妹や弟に電話をかけ、話をしているうちに怒り出し喧嘩になることがある。少し様子をみることで、落ち着いてくる。 服用している。鎮静・抗不安薬 (本人) 頭がおかしくなることがある。どうしたらよいか分からない。 (次女) きょうだいや孫には、認知症が進んでいるからと話し、理解を求めているが、自分自身、ストレスを感じてしまうことがある。</p>
<p>12 介護力 (1) 介護者 (2) 介護負担・ストレス 《意向》</p>	<p>1ヶ月前に主介護者であった長男が急死したため、近くに住む次女が毎日自宅に訪問し、IADLと精神的支援をしている。 次女は、左手首の炎症があり、お風呂等の身体介護はできない。 孫(次女の長女): 月2回、訪問し家事や入浴の支援をしてくれる。 孫(次女の長男): 毎日泊ってくれている(深夜帯1時~翌朝8時) (本人) 次女や孫に迷惑をかけないよう、早く良くなりたい。 (次女) 少しストレスを感じてきている。認知症がどんどん進行したらどうしようと不安がある。</p>
<p>13 居住環境 (1) 身体状態から見た居住環境問題</p>	<p>リビングから居室までの段差が高い。</p>

《意向》	(本人) 気を付けて歩きたい。 (次女) 夜間、トイレに行く時が心配です。気持ちが不安定な時も注意が緩慢になるので心配。
1 4 特別な状況	特にない。 (本人) - - (次女) - -
1 5 その他	月 2 回来てくれる孫が、毛染めをしてくれている

服薬状況 (別表)

薬剤名	量	効能
テネリア錠 20 mg	2 錠	インスリン分泌を促す物質の作用を強め血糖値を下げる
カンデサルタン 4 mg	1 錠	降圧剤
ロスバスタチン 2.5 mg	1 錠	血中の LDL コレステロールを低下させる
ジアゼパム錠 2 mg	2 錠	神経症における不安・緊張・抑うつ
イソソルビド徐放カプセル 20 mg	2CP	虚血性心疾患治療剤
ジルチアゼム塩酸塩 60 mg	2 錠	降圧剤